

近江町立坂田小学校

地域の自然・文化・人とふれあい、心を育てる総合的な学習の時間

川端 隆幸

1. 本校の総合的な学習の時間でつけたい子どもの力

地域の探索活動や、自然・文化・人とのふれ合う活動を通して、自然や人にやさしく関わり、心のふるさとを作るとともに、自ら気づいた課題について、自ら解決する方法を身につけ、社会を生き抜く資質や能力の基礎を培う。

2. 平成15年度 第5学年 総合的な学習の時間(全110時間)

環境専門家(環境省登録環境カウンセラー)を交え、地域の環境教育の特色を活かして5学年全員で環境学習に取り組む。

ふるさと・環境の旅

出かけよう・調べよう・ふれ合おう

スケジュール

1学期(25時間)

1) 米作り(5/28田植え)

2) 水生生物調べ(6/28親子活動)

3) 地球の環境について調べよう(ビデオ視聴)

・地球の温暖化 ・酸性雨 ・オゾン層の破壊 ・熱帯雨林の減少

「地球的規模で、環境問題が広がっていることを知る。」

2学期(30時間) 課題づくり 疑問追究 問題解決への提案・実践

《子どもの疑問・課題意識》

4) 身のまわりの環境について調べよう

・新聞記事の切り抜きから(ダイオキシン問題・河川の汚れ) ・生活排水について ・洗剤の影響...水生生物など

「水を守らなければという意識づけを図る」

(1) 琵琶湖:フローティングスクール(9/17・18)

(2) 一年間に食べる田んぼは? & 田んぼの雑草調べ(9/29、10/10)

(3) 水路にある植物を調べてみよう! & 水路の水質を調べよう!

(パケットテストなど)(10/23)

(4) 水の汚れは何処から来るの?(宿題)

学校の近くにある川は、もったきれいだっただという話を聞いたけど、昔

のようにきれいな川をとりもどせないかな。

《調査内容・表現方法》

川の水質調査などにより、水の汚れについて調べる。

きれいな川を取り戻すための地域や家庭での活動を調べる。

調べたことをまとめ、自分たちにできる活動を始める。

5) 環境を守るためにできること

(1) エコゲーム・ハンドノット～水をキレイに～(11/10)

生活排水について調べよう

・生活排水の実態をさぐる(排水経路・家庭で流している物質を調査)

・「靴下洗いコンテスト」汚れの実験をしよう・合成洗剤と石けんの違いを調べよう(合成洗剤と石けんの違い)(合成洗剤の怖さ)

《関連・発展》

関係機関の協力を得て、自分たちにできる活動を行う。

(2) 廃油で石鹸づくり(11/19)(石けんの良さと作り方)

・廃油を回収しよう(廃油集め)(家庭へのアンケート調査)

・廃油石けんを作ろう

3学期(22時間)

6) 環境を守るためにできること

(1) 作った石けんをどうするか話し合う。

・学区の人に石けんの良さを知ってもらうため、石けん募金活動を始めよう。

(石けんの包装、ポスター、募金箱、看板などの作成をする。)

(2) 店頭販売(2/5)

今後わたしたちにできることは?

・共同募金委員会へ寄付しよう。

・環境を守っていこう。(作文等でも訴える。)

7) 環境学習のまとめ

発表会(2/18)

ハロータイム(国際理解)(3時間)

コンピュータ等情報機器活用技能の修得を目指す学習活動(30時間)

一緒に勉強して（悩んで）頂いた先生

今村忠彦さん 滋賀環境カウンセラー協会教育部会長兼事務局長
N G O環境計画市民会議代表兼環境プリンシパル
N P O循環型社会形成推進協議会認定環境マスター
その他環境関連委嘱委員多数

今村千鶴さん N G O環境計画市民会議理事
N P O循環型社会形成推進協議会認定環境マスター
環境教育講座講師（不定期で年20回程度）講師：

竹内辰郎さん 滋賀環境カウンセラー協会会長
N P O豊穰の郷赤野井湾流域協議会理事
その他環境関連委嘱委員多数

講師を支え一緒に汗をかいた人

今村愛紗さん N G O環境計画市民会議環境教育委員
N P O循環型社会形成推進協議会認定環境マスター補

環境省近畿地区環境対策調査官事務所から

所長の境治久さん

地方環境対策調査官の釣田誠司さん、寺西武夫さん、深尾 睦さん、岩田浩幸さん